

第1回静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会 議事録

日時	2023年10月6日 14:00-16:00		
場所	静岡庁舎新館 9階 特別会議室		
委員	氏名	所属・役職等	専門
	中村 英夫	日本大学 理工学部 教授	都市計画
	須藤 智	静岡大学 グローバル 共創科学部 准教授	地域活性化 ・ 行動心理 ユニバーサルデザイン
	三浦 詩乃	一般社団法人ストリートライフ・メイカーズ 代表理事	都市・地域デザイン
	平井 崇士	東海旅客鉄道株式会社 総合企画本部企画開発部担当課長	交通事業者
	齊藤 行紀 (意見聴取者) 杉本恵	静岡中央警察署交通課長 (静岡中央警察署交通課交通規制係長)	交通事業者
	中村 直保 (意見聴取者) 稲葉雅弘	静岡市自治会連合会会長 (静岡市駿河区八幡二丁目自治会 会長)	地域代表
	名波 昌巳	駅南銀座振興会会長	地元経済活動代表者
	田代 卓靖	公募委員	市民公募
	浅野 美幸	公募委員	市民公募
	安本 花梨	公募委員	市民公募
	増田 郁理	公募委員	市民公募
	井藤 喜美江	NPO 法人男女共同参画フォーラムしずおか 理事静岡市女性会館館長	女性 ・ 子育て
	牧野 善浴	特定非営利活動法人 静岡市障害者協会会長	バリアフリー
	根来 晃司	商業組合静岡県 タクシー協会静岡支部長	交通事業者
	藁科 孝佳	しずてつジャストライン株式会社 取締役運行企画部長兼輸送計画室長	交通事業者
事務局	静岡市市街地整備課：高田課長、伊東係長、有賀主査、青沼主査、新井技師 株式会社日建設計：正垣、高橋、清水		

発言者	議事
	<p>(提出資料)</p> <p>資料1 委員名簿</p> <p>資料2 静岡市附属機関設置条例</p> <p>資料3 静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会の進め方について</p> <p>資料4 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点</p> <p>資料5 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討について</p> <p>(次第)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 挨拶 3. 委員会自己紹介 4. 委員長選任等 5. 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会の進め方について (2) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討に向けた3つの視点 <ul style="list-style-type: none"> ・ 駅まちデザインとは ・ 南口駅前広場周辺の地域活動 (3) 静岡駅南口駅前広場再整備の目指すべき姿の検討について 6. 閉会
視点①について	
中村氏	<p>ありがとうございました。現状に対する視点、それから空間のあり方、空間の使い方、三つの視点を提示されたわけでございます。いろいろな切り口があろうかと思えますけれども、今日のところは第1回目でもありますし、三つの視点で少し議論をできればと思えます。まず1番目の現状に対する視点ということで、現状やそれに関する課題に関して皆さま方のそれぞれのお立場、あるいは普段、利用者として関わる中でこんなことがあるのではないかとといったようなことがあれば、少しこの中にあったアンケートと重なるようなところもあるかもしれませんけれども、改めて各委員さんがお感じになっておられる現状の課題を少しお聞かせいただければというふうに思います。どなたでも結構でござ</p>

	ざいますのでご発言いただけますでしょうか。
名波氏	駅南銀座振興会の名波です。よろしくお願いします。今、私も駅南銀座にいながら夜、駅の前をよく通りますが、駅前広場と街がつながってないのですよね。まちと広場がつながってないっていう状況が今、ものすごく見られるように感じます。
中村氏	ありがとうございます。それは物理的にはつながっているかと思うのですが、イメージなり空間として心情的に、駅は駅、まちはまちみたいな、そんな印象を受けるということでしょうか。
名波氏	そうです。区域が分割されているという状況にしか見えません。
中村氏	なるほど。どうもありがとうございます。他、いかがでございましょうか。田代委員様、どうぞお願いします。
田代氏	最近、高校の同級生が駅南の会の幹事をやっております、魅力的な飲食店が駅南に多いのですね。そのいろんな飲食店も含めて、最近いろんな同級会と集まりをするようになったのですが、北口に比べて非常に庶民的といいますか、北口に比べると肩肘張らなくて済むような、非常にざくばらんな店やディープな店もあるという南口の魅力を再発見して、南口の商店街含めて飲食店と駅前広場がうまくつながるような、名波さんがおっしゃっていましたように、ちょっと分断されているような駅前の広場から魅力ある飲食店のほうに人が流れるような、あるいは飲食店が駅前広場で集客活動をするような、そんな所があるといいなというふうに思っています。
中村氏	私も前回、駅前広場に来たときはネットで調べて南口のほうでおいしいお店があるというので5分ぐらい歩いて食べに行ったのですが、確かに北口とはまた違う個人営業的なお店があって、雰囲気はいいなという印象を持った機会がありました。ありがとうございます。
増田氏	移住してきたときに最初に住んだのが南口側だったのですが、今、中学生の子どもが小学生のときに、る・く・るの方によく遊びに行ったりしていたのですが、そちらに子どもだけで行くとなると、南口はどうしても車の通りが多かったりとか、死角になる部分が多かったりするので、やっぱりちょっと心配というところがあって、南口に行くときは気を付けるよう、指導をしていました。どうしても北口に比べると、新幹線側ではあるのですが、若干暗い印象があります。
稲葉氏	先ほどから駅前広場という言葉が使われているのですが、広場ですかね、これ。われわれにとってはロータリーです。広場という意味が分からないですね。地域住民はそう呼んでいます。
中村氏	結構象徴するようなお話ですね。

<p>牧野氏</p>	<p>障がい者とか高齢者も含めての移動が難しい方々の意見が出にくいかと思っ ているのであえて申し上げますけれども、あまり静岡駅は南口も北口も障がい者 に優しくないです。北口のほうは市街地に行くために地下に行かなきゃいけな いのですけれども、十数年前は民間のパルシェさんと西武のエレベーターを使 わないと車いすは向こうまで行けなかった。それかもっと西と東の平面の横断 歩道を使わないと行けないという状況だったのが、ここ 10 年前くらいから可 能になったのですけども、まだハードルは高いです。</p> <p>それに比べると南口はいいですけれども、狭過ぎる。車いすの乗降スペースは バス停の所に少しあるのですが、例えばストレッチャータイプのような少し余 裕が必要な場合に、自分で車を運転する人は一旦他の所に駐車してからでし ょうけれども、バスに追い立てられると気を急いで乗降しなきゃならないよう な状況にあって、狭い所に無理やり突っ込んでいくという感じがします。</p> <p>他にも障がいのある方々が、視覚障がいにしても知的障がいにしても、個別 なお話は聞いてきておりますのでまた後でお話をいたしますが、結局、障がい のある人が来るという話を駅として受け入れるのだと思います。新幹線側の出 口なので、東京とか名古屋、大阪に行くためには南側に来る訳ですよ。ね。 そうすると駅そのものにはエレベーターができ、昔のように迷路のような状況 ではなくなり、少し良くなったには良かったのですが、駅に車で来たときの 乗降場は非常に使い勝手が悪いということを私の立場としては申し上げます。</p>
<p>中村氏</p>	<p>障がいを持った方々という立場からすると、まだまだといったご指摘だったか と思います。</p>
<p>安本氏</p>	<p>私は大学生なのですが、一番初めに南口に対して出てくる感想が、あまり南口 側に行かない、行く場所がないというのが現状としてあります。商業施設が北 口側に集まっているので、まずそもそも南口側にあまり行ってないないとい うことです。友達とどこかに行くとしても、南口の方はあまり話題に出ないので、 もっと魅力がある施設を作っていくというのが良いと思っています。せっかく 南口側は学校があったり塾で来られる学生が多かったりするので、駅前広場の 使い方に生かせるのではと思います。</p>
<p>中村氏</p>	<p>2 番目の空間の作り方、使い方といったところにも少し関係するようなお話を いただいたかなと思います。</p>
<p>浅野氏</p>	<p>私も安本さんと同様に、若い人が訪れるようなコンテンツが南口のほうには少 ないように感じています。私の友達でよく静岡駅を利用する人も結構いるので すが、南口の方はほとんど使わないというふうにいつも話しています。私は静 岡県出身ではなくて新潟市のほうに 18 年間住んでいて、静岡に来て 6 カ月目 くらいになります。初めて来たときの南口の第一印象が、駿河銀行のビル群が 並んでいるイメージで、商業のまちとしてのシンボルとしてすごくいいと思</p>

	<p>ってちょっと憧れを感じていたのですけれど、初めて来た人たちには逆に南口の方に訪れにくい印象を与えているかもしれないというふうに思います。</p> <p>今回、南口の方に行き、いろいろな所を回ってみて、初めて南口のちょっと奥まった森下公園のほうに行き、こんなものがあったのかというふうに思いました。多分初めて来た人や観光で来る人たちにはそういうものがあまり伝わらないのではないかなと思っています。</p>
中村氏	<p>私も先日、ご案内いただいて行ったのですが、繁華街としてのすごい所という感じよりは、生活を感じる、あるいは学校があって銀行があって、公園があってという、何か落ち着いたたたずまいのある、でも何か住民の暮らしを感じるようなエリアという印象を持ちました。おそらくもっといろいろな顔を持った南口が変わっていくポテンシャルがあると思います。それに向けてこの南口の駅前広場がゲートウェイになるようなことにつながるようなお話かなと思って聞かせていただきました。ありがとうございます。</p>
藁科氏	<p>交通事業者としての意見ですが、まずロータリーについて北口と大きく異なるのは、一般車もわれわれバスも、それからタクシーも全て一つの所に、非常に狭い所に、共用して使っているというところで、安全面で非常に課題のある作りになっているところであると感じます。われわれ交通事業者側も、それから送迎で使われる一般車の方も、お互いにストレスを感じながら今のロータリーを使っているという状況があるのではないかと考えております。</p> <p>それから歩行者空間も非常に狭いという中で、われわれのバスの待機をしていただいて、その待機列と歩行者の方が輻輳してしまうというような課題もあると感じているところでございます。</p>
根来氏	<p>交通事業者としての課題認識というのは、ジャストラインの藁科委員が言われていたことと重なるのですが、先ほど広場ではなくロータリーという認識という話が稲葉委員からありましたけども、ロータリーと呼ぶにも少し狭いのではないのでしょうか。今、話があったように、一般車、バス、タクシーが混在してしまっています。特に利用される方は常々感じていることだと思うのですが、週末の夕方辺りになるとタクシーを止める場所がなくなってしまいます。さらには、一般車の方もロータリーを何周もしているような現状だと思います。</p> <p>また、タクシーの乗り場のことについて言わせていただきますと、コンコースを出て JR から降りてきてすぐ目の前に乗り場が設けられているというのは、北口と違って本当に利用者からはありがたい部分ではあるのですが、一方で混雑時になるとタクシー待ちの滞留スペースがあまりにも狭く、JR のコンコースの中にまで列が延びてしまうような状況になりますので、先ほど言われたような広場の再整備や歩行者がいられるようなスペースのさらなる確保、どこまで再整備の面積が取れるのかというのもこれからなのではないかと、や</p>

	<p>はりあまりにも狭いというのが課題だと思っております。</p>
平井氏	<p>資料4の4ページの一般車の乗降場があると思うのですが、ここに枠が示されてはいるのですが、そのとおり車が止められておらず、斜めに止められています。さらには、2列になっていて、2列目の車が出るときにバックして、後ろから来たタクシーとかバスとかの交通と競合するというか、非常に危険な状態となっています。一般車もそうですし、タクシーもそのとおりだと思うのですが、ロータリーのスペースが狭くて止めようがないので、そのような交通マナーになってしまっているのだと思います。バリアフリーのスペースにも一般の方が停まっていて、バリアフリー利用の方が止まれない空間になっていることが課題かと思えます。</p>
杉本様	<p>静岡中央署の杉本です。先ほどJRさんが言われたとおりに、交通ルールが守られていないのが非常に残念な状況です。それ以外にも、広場内に横断歩道があり本来そこは歩行者が守られる場所なのですが、車がどんどん走り、動線の危険性が感じられる部分もありまして、いろいろと課題が多く、安全対策が必要だなと感じております。</p>
井藤氏	<p>葵区のほうに住んでおまして、南口へは送迎利用が多いので安心と安全が確保されていることが最低限、守られてほしいなと思っておりますが、交通量がやはり多いイメージを持っています。皆さんおっしゃっていますけれども、一般車と公共の交通機関が一緒になっていることもあり、どうしても安全面で不安なところと、歩行者としても歩くときに歩道の幅が少なかったり、子どもと一緒に歩いているとすれば、子どもが安心して歩けるようなスペースがなかったり、あと少し休みたいなと思ったときに休めるようなスペースもなかったり、ということも含めて、どうしても安心と安全が確保された場所であってほしいのに、そこが確保されていないというふうに思っています。</p> <p>ロータリーは車で送迎をしたときに、一度入ると一周回らなくては行けないので、中に車が止まっているとどうしてもその出入りに対してすごく気を遣いますし、送迎で待ってらっしゃる方も多いので、多くのスペースであり安全が確保できていないというように感じました。</p>
須藤氏	<p>いろいろお話を伺っていてなるほどと思ったところもあったのですが、やはりこの地図が印象的で。先ほど広場じゃなくてロータリーだよねっておっしゃっていたというのもあって、どういう視点で作られたのかを考えると、車中心の社会を前提にして作られたものだなというように見ることができると思います。しかし車は私たちの生活にとってとても重要なものなので、どのように車と人が共存していくのがこれからの課題の一つなのだろうと思っています。車関係の事業者様のほうからもやはり、実は使いにくいというお話があったというところがあって、今の市民の方々の使い方と実は合っていないというこ</p>

	<p>とは確認していかないといけないことだと思います。私は心理学が専門なのですけれども、ユニバーサルデザインなどをやっております、基本的には人間中心でいこうというのをよくいろんな所で言っております。これはやはりどう考えても車中心の見方をしているので、先ほどの障がい者の方、子どもの話も含めて、どうここを人中心にもう一度、開発してくのが大きなポイントなのだろうと思います。</p> <p>さらにこれからどんどん人口が減っていき、車の仕組みもどんどん変わってくるという中で、どういうふうにそのシステムをこの中に組み込んでくのかという未来図を描かないと、10年後、20年後にずれが出てきてしまうのではないかと感じます。静岡市さんのこれからの未来的な方針も含めて、このスペースをどのようにしていくかを考えなくてはならないと思います。静岡のいいところでもあり悪いところでもあるのですけど、土地の広さの問題という物理的制約のある中でどういうふうにそのパズルを解いてくのかというところが難しいところなのだと思います。でも究極的なポイントとしてはやはり人の視点からしっかりと作ってくっていうことを大きなゴールにしたらいのではないかとお話を伺い感じました。以上です。</p>
三浦氏	<p>私からは、この新幹線の止まる駅ということについて、南口が今回注目しなくてはならず、問題にしているのですが、北口との分担の仕方も定期的に意見交換しながら進めていくべきということについて、課題というより今後の進め方の部分で気になっていました。</p>
中村氏	<p>共通認識としてキーワードを押さえられたらと思うのですがすけれども、まず一つは車の利用者の方、交通事業者の方、送迎として使われる一般ドライバーの方にとって使いづらいこと、あるいは危ない面があるといったことが意見として多く出たかなと思います。車利用者にとって課題があるということが一つのこのまとめだったかと思います。</p> <p>それからもう一つは人側です。利用者の側として、まさに広場ではないのではないかと、単なるロータリーではないかといった話もございましたし、歩行者空間が非常に貧弱でいろいろと弊害がある、あるいはすこし休みたい場所もない等々も、単に交通広場というだけでなく、空間としての機能も足りないというご意見もあったかと思います。人のための空間としてどうなのでしょうかという部分であったかと思います。</p> <p>もう1つはまちとの関係ですよね。南口の駅を出て、駅前の広場が、広場というかロータリーがあったときに、人はそこでとどまることはない、そこから今度、まちへ出で行くわけですが、現状はまちとのつながりが感じられない、切れているのではないか。つながりが弱いのではないか。あるいはもっとまちとインタラクティブにいろいろなことをやっていくことでよいサイクルになっ</p>

	<p>ていくのではないか、そのようなことを車と人の共存という形で須藤先生にお話いただきました。少し先を見据えてそこもしっかり考えていく必要がある。そんなようなキーワードだったと感じます。</p> <p>他にもいろいろあったと思いますが、代表的な切り口として車、人、そしてまち、その三つの観点で、それらが融合した考え方をする必要があったことかと思しますので、これらを一旦のまとめとして頭に置いて、次の議論のほうに進めていきたいと思ひます。</p>
<p>視点②③について</p>	
<p>中村氏</p>	<p>ここから先ほどの視点の2「空間のあり方」、視点の3「空間の使い方」、こちらの議論に入っていくわけでございますけれども、今のご説明、プレゼンも踏まえながら、これからの将来の南口の広場、あるいはさらにその先の南口のまちづくりも若干視野に入ろうかと思ひますけれども、まずは広場について皆さまがたのご意見を聞いていきたいというふうに思ひます。</p> <p>先ほどの課題のほうでは当然交通や、まちとの関係、もう少し広場としての機能のことだけではなくいろいろな話があったと思ひますけれども、交通の問題、そして広場としての問題、いろいろな切り口があろうかと思ひます。いずれにしてもこういう空間であってほしい、あるいはこういう使い方ができたらいいというような、少し夢も含めていろんなご意見をいただけたらありがたいなというふうに思ひます。</p> <p>少しお時間をいただきまして、皆さまがたから空間のあり方、空間の使い方、この辺りで自由にご意見をいただければと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>
<p>田代氏</p>	<p>今、現状の課題、交通の課題、それから人の安らぐ空間がないなどの課題がありましたけれども、今、三浦先生、須藤先生、稲葉委員の話を書く中で、全ての課題を解決するのは非常に欲張りなのではないかという印象を持ちました。自分自身は市民が安心して車で送迎できる場所の確保、それから今度、リニアが開通すると静岡に恐らく新幹線ひかりなどが止まるようになることになると思ひます。東京辺り、あるいは関西辺りから観光客の方が来るのではないのでしょうか。そこで観光バスとかタクシーとかの需要が出てくるのではないかと考えています。静岡には久能山や用宗など南のほうに資源がありますので、それを目当てに観光客が押し寄せてくることも考えられると思ひます。そうするとバスとかタクシーの乗り降りする場所も整備しないといけないと思ひます。</p> <p>一方で、やはり10年、20年先を見通すと、須藤先生のお話にもありましたように、モータリゼーションから人中心の、人のための空間というのが大事になってくるので、本当はその三つの課題、車と、市民の車の送迎、それから観光客向けの車の整備、市民の憩いの場というようなところを、一遍に解決したい</p>

	<p>と思っています。ですがどちらかというとはやり人への投資が重要になってくるのだとすると、私自身、どこに方向性を持っていったらいいかということを考えてはいけなかったと思います。</p>
名波氏	<p>私は駅南銀座の商店街の人間で、静岡駅に一番近い商店街ですので、駅南銀座を盛り上げたいと思っています。駅の南口から下りて、東西に500メートル、JR静岡駅から徒歩500メートルという、静岡ガスやNHKがごぞいます。遊び行くにも静岡ガスのお祭りがあるときにちょうどはまる位置です。ですから、500メートルを限度に考えていただければと思います。これから栄えるまちだと思います。</p> <p>私も住んでいながら古いまちだと思えることはありました。今、商店街でも新しい店舗がオープンにしまして、SNSにすごい明るいまちになったという反響がありました。静岡駅から下りたときに田舎な静岡のまちだと思えないようにしたいなと思ひまして、それも踏まえて半径500メートルを意識しながらつくっていきたいと思ひしております。また徒歩でも500メートルでしたら大体ほぼ歩けると思ひます。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。私は現地にあまり詳しくないのですが、先ほど名波さんがおっしゃった新しいお店があるエリアというのは、この辺でいうと駅南ぐらいなののでしょうか。</p>
名波氏	<p>周りにいろいろありまして、森下小学校の近所にも新しくできているお店もごぞいますし、駅南銀座でも、飲食ですが、お店はいろいろできている状況です。僕が回っても「名波さん、今、バブルが来たよ、飲食バブルだよ」という話を聞くような状況になっています。物販は少ないですから、これからはそちらを重視したいですけど、面白いまちです。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。いずれにしてもそういうところとのつなぎを広場が担っていき、シームレスにつながるような空間であってほしいということでしょうかね。</p>
増田氏	<p>子どもの視点からということでお話しさせていただいたのですが、例にもあったような、駅前がお子さんとか親子連れがくつろげる場所があると、何かイベントをやるのもしやすいですし、そこから、例えば他の駅南銀座商店街とか他の森下公園のほうとか久能街道のほうにつながられるような、一つの玄関口みたいな形ができるのではないかとこのように思ひます。</p> <p>あとは先ほども何度か出ていた、下りたときに静岡らしいないうふうに感じられるものが、どちらかというとは北口側に今集中しているのでは、南口もすぐく下町のような雰囲気のお店があつて、ディープなショップなどを紹介するには南口のほうを私もよく紹介しているのでは、そういった点でももう少し明るく開けながら誘導していけるような空間づくりができるといいなと思ひます。</p>

中村氏	ありがとうございます。牧野さん、お願いいたします。
牧野氏	障がい者協会の牧野です。まず質問なのですけれども、資料4の2ページ目の所に、静岡駅全体の駅端末交通手段割合という円グラフが出てきます。この辺の中身知りたいです。10年ぐらい前の話であることは置いておいて、新幹線と在来線のところの静岡駅の在来線、静岡駅の新幹線というのが、駅端末というのを含めてなんのことを意味しているかよく分からないのです。電車か、利用している人ばかりではないという話だったと思うのですけれども、北口を利用している人を探す、または特定するのは難しいだろうし、南口を利用する人を特定するのも難しいからこれを出したのだろうなと思うのですけれども、もう一回、ご説明いただければと思うのですけど。
中村氏	それでは事務局、お願いいたします。
事務局	こちらの左側の円グラフについては、鉄道を利用した方がどのような交通手段で駅にアクセスしたかというのを示している円グラフでございまして、右側の人の流れとは少し性質が違いまして、右側は鉄道利用者さん以外、通過する人も入っている人の流れなのですけれども、左側の円グラフについては全て鉄道を利用した方という前提でございまして。
牧野氏	それは鉄道を利用して来た人と鉄道を利用してどこかへ行く人の両方ですね。
事務局	はい。
牧野氏	<p>自転車についてなのですが、静岡はもっと自転車を使って通勤している人が多いと思います。もっとたくさんあるのだろうなという前提があったのですけれども、自転車置き場など非常に問題になっているものがあるなど、平面が多い静岡市については自転車利用の人が多いので、その人たちのことは今後、駅はあまり使わないことを前提に考えてしまっているのかということについて、私の中で疑問がございまして。</p> <p>それは置いておいて、私としては、空間についての話をしたときに、駅の北口と南口は全く違うわけです。予習のために市街地活性化についてなどを見ていたら、駅の南側のことはほとんど書かれていませんでした。駅周辺の市街地という言い方をしている割には、南側は対象外のように感じます。今後これらをどうするかという話は議論するべきだと思います。国道1号線についても、バイパスは作ったけれどそんなに交通量は減ってないという話があって、松坂屋の前の横断歩道についても、小学生が交通事故で亡くなったことで平面横断ができなくなっているという話があります。駅の北口の話と、南側の新幹線口の話について、例えば新幹線をもっとアピールしていいのかという話や、通勤客などの話についてなど、駅全体のことや機能のことをもう少し検討する必要があるのではないかと思うのが1点です。</p> <p>もう一つ、最近、障がい者の関係でインクルージョンという言葉が出てきてい</p>

	<p>ます。障がいがある人もない人も地域では一緒に暮らしているということですが、例えば学校について、言葉は非常に適切ではないのですが、特別支援学校や普通学校などというかたちで障がい者が集められています。そのほうが効率もよいという話なのですが、国連からもっと地域の学校で教育を同じようにしてくださいという勧告を受けているのですが、日本の文部科学省さんは今の形がインクルーシブ教育だと言っているのですよね。今のままでいいみたいな話だが、私はそうは思わないのです。その話の近いところだと思うのですが、地域というのは外国人も高齢者も山間地の人もいろんな人が住んでいるという話の中で、それをどのようにするかという話も考えながらこの駅のことを考えないといけないと思います。卑屈な言い方になってしまうのですが、駅の使い勝手が悪いから障がいがある人たちはあんまり使わないということも言ってしまうのですよね。</p> <p>私は駅南に住んでいるのですけれども、バスの路線からすると北側に着いてしまうものですから、南口を使うのは新幹線を使うときだけになってしまっています。そうするとパルシェの所に来て、帰るときにタクシーで帰る。いろんな使い方をしている人、多様性のある人がいる中で、どういう人がどういうふうに使っているかということはもう少し分析したほうがいいと思います。</p> <p>言いたいことは、誰のためにこの再開発のことを考えるのかという話で、結果としてお客さんのことを考えないと、バスにしてもタクシーにしても JR さんにしても、駅南の活性化みたいな話ができないと思います。広場のお話も商業施設の話もあるので、駅南に住んでいる人がバスで行くときは駅北に止まることが、多分、半分ぐらいの所は駅北に止まっているのですよね。その声あまりないっていう話も出ているような気がしますので、南口だけの話ではなくて、全体の話の中で考えていただきたいというのが私の意見です。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。北口との役割分担と使われ方の両方でもって、それをどう解決するかといったことも含めて、全体で考える必要があるという話だったかと思います。</p> <p>第2回目で議論する広場機能の施設量の辺りが、北口との合わせ技の中で、北と南はこういう役割分担ができて、こういう交通のさばき方、あるいは人の空間が必要というような話をやるところだったので、今の牧野委員のお話、十分踏まえて検討できればと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>あと、今、いろいろキーワードで、いろいろな多様性のある方々が使うのだということを頭の中で、いろんなキーワードいただきました。ありがとうございます。他にどうでしょう。空間のあり方、使い方についての意見をどうぞお願いいたします。</p>
井藤氏	<p>駅前広場に求めるものとなれば、交流ができるようなスペースになればいいな</p>

	<p>というふうに思っています。今、駅前の広場の所、誰が使うのかというところを考えたときに、例えば駅南に住んでらっしゃる、もしくは駅南に勤めてらっしゃるとかっていう方が使うとすれば、それ以外の人というのはどうしても新幹線を利用する送迎が主な目的になってきてしまう。そうするとやはり車を中心とした利便性の良いものというふうに考えられるとは思いますが、そうではなくて、先ほどの議論の中にあつたとおり、人を中心にこれから考えていくとすれば、何かそこで目的があるとか交流があるからそこに行くんだみたいな活用がされない、移動のためにしか行かないということになってくると思うので、それよりはそこで何か交流があるみたいなスペースがやはりあればいいのかなというふうに思いました。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。一つの使い方、使われ方ですね。それができる空間であってほしいということですね。</p> <p>では名波委員、お願いします。</p>
名波氏	<p>視点3の空間の使い方という件なのですが、例えば南口を出て、さっき言った広場じゃなくロータリーの向こう側の広場、喫煙所になっている所がありますよね。</p>
中村氏	<p>彫刻が置いてある所ですね。</p>
名波氏	<p>そうです。あそこに駅南でご商売なさっている方、例えば飲食店、駅南銀座だけではなく、駅南のあそこら辺の近辺のかたがたがあそこの広場を利用して、例えばテントを張りまして販売、周知するのは色々ところで周知していただいたりしてもいいし、そうやりながら自分たちの販売の宣伝をやったりとか、若い人たちが来るような感じで盛り上げるやり方もあると思うのですよね。そういうこれからの空間の使い方というのをやっていくのはいかがかなというふうに考えています。</p>
中村氏	<p>鉄道に乗り換える人が使うという範疇を越えて、もっとまちと一緒にするというか、にぎやかという言葉は悪いですが、活性化につながるような使い方みたいなことまでイメージしたらどうかと、そういったことですね。</p>
名波氏	<p>そうすれば若い方がいろいろ来るし。例えばこの問題っていうのは私たちが私たちのためにやるのではないのですよ。やっぱり僕らの子どもたち、例えば若いかたがたのために動いているのが私たちだと思うのですよね。だからやっぱりそれを頭の中にみんな基本的に入れて、子どもたちのため、未来のためにこれを行っていくというのが僕の考えです。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。他、いかがでしょう。今度は浅野さんからいきましょうか。</p>
浅野氏	<p>私が考える南口広場の指針としてやはり最低限挙げたいのが、安心できることですね。今の南口広場って私も去年1回行ったことがあるのですが、企業が</p>

	<p>多いのも相まってなんかちょっと暗いイメージというか、足早に通り過ぎたいイメージがありました。なので、広さとか明るさとか人通りの量をもう少し考慮した広場づくりができたらいいのかなと思っています。安心という土台ができれば、もちろん利用者もどんどん増えていくでしょうし、さっきおっしゃっていたような交流する活動もどんどん増えていくのかなと思います。それが南口広場の将来の活性化につながるのではないかなと考えています。</p> <p>具体的な内容について、名波さんにちょっと質問させていただきたいのですが、先ほどの話ですと駅南銀座はちょっと私の中の第一印象だと結構ターゲット層の年齢が高めなイメージがあるのですが。</p>
名波氏	<p>実際高いです。ただあの近辺もやっぱりいろんな企業が入ってきてまして、高いのはそのせいだと思います。年齢が高いってどのぐらいのことをおっしゃっています？</p>
浅野氏	<p>企業にお勤めの方々がちょっとお仕事帰りに寄るようなイメージなわけですけど。親子まではいかないのですが、ちょっと若い人も今後のターゲットってというか、そういうのに入れていくのかどうかを知りたいです。</p>
名波氏	<p>入れていきたいと思います。先ほど私が言ったのは、やっぱり次の世代っていうのは若い方とか、私の息子が31か32になるのですが、彼らが動けるような形を今のうちに作っておこうという気持ちでやっています。だから多分、親子関係のくらいだと思うのですが、現在駅南銀座ではコーヒー屋、hugcoffeだとか、若いお客さんが結構増えている現状がありまして、森下公園のほう行くと、ちょっと面白いお店が2、3軒あるのですね。だからそういう所も若い人が行くかなと思うのです。私はそういうことで駅南銀座、みんな若い人たちを呼びたいっていう気持ちがあります。だからとにかく明るくしたい、これが私のビジョンです。</p>
浅野氏	<p>そうなのであれば、若い人たちが今はちょっと行きにくいイメージがどうしてもありまして、なので若い人も安心できるような広場からの動線があればいいのかなとは少し思うのです。</p> <p>それから視点3なのですが、まず若者を南口のほうに呼び寄せたいという私の考えがあります。先ほどの三浦先生の資料の旭川市の学生の居場所みたいなパブリックスペースが今回、私が伝えたかったことにぴったりでした。先日街歩きで南口広場のほうには学校や予備校もあるということで、学生が結構使うことが多いということでしたので、公民館とか若者の居場所みたいな学習スペースがあれば、絶対若い人たちは使うと思うのですね。北口とか構内にもカフェがあるので、学生は基本貧乏なので、コーヒー1杯とかにそんなお金を使いたくないのですよ。なので、南口って北口と違ってちょっと程よい田舎感というか、安心できる環境が魅力だと思うので、それを生かしたいいろんな人</p>

	<p>が使えるようなスペースがあったらいいのかなとは思っております。</p>
中村氏	<p>ありがとうございました。では安本さん。</p>
安本氏	<p>さっきおっしゃっていたと思うのですが、そういう開けた全員が使える環境づくりということが大事だと感じていて、静岡駅を利用するとお店に入る以外に、待つ場所というのがそもそも少なくて、どこかで待ち合わせするにも待ち合わせしづらかったりとか、どこで待ち合わせようってなったときにも、やっぱりお金を払って待っていなければならなかったりすることが、学生にとってはきついというところがあります。それを今叶えられる場所としては、さっきおっしゃっていたロータリーの奥にある広場になると思うのですが、そこも今、喫煙所があるので、たばこ嫌いの人にとってはかなり待つのは苦痛なんじゃないかなと思っています。ベンチも置いてあるのですが、結局利用する人が少ないというのがあって、それはすごい空間としてもったいないのではないかなと思います。また、考えたのが、ペDESTリアンデッキを使っている人が少なくて、なかなか行く場所が限られて使う人がなかなかいないのではないかなという印象があります。ペDESTリアンデッキを作るならもっといろんな場所に付けるとか、別に広いスペースを作って広場とか、そして雨天でも何かイベントができるようにするとか、そういう工夫の仕方っていうのはあるのかなと思うので、それは改善したほうが良いかなと思っています。</p> <p>やっぱり安全性の面から考えると、道幅がすごく狭いと思っていて、子ども連れとかの人とかを見るとすごい気を遣っていて、ベビーカーの人やスーツケースを持った観光客が通るときに、道幅ぎりぎりになってしまうと思っています。</p>
中村氏	<p>ありがとうございました。キーワードの抽出をやっていただいていますので、その作業を進めていただいて、後程お披露目をしていただけたらと思います。他にどうでしょう。</p>
牧野氏	<p>ちょっと言い忘れたことで一つ、この中に指摘されてないのですが、石田街道の所に止まる観光バスが交通渋滞をある時間帯に引き起こすという問題があって、それは今後どうするのかというお話が大きくあると思います。私がこの話を自分の職場でしたら、バスタみたいな、バスターミナルのでかいやつを作ってしまったほうが良いのではないかなというふうなことでした。北口との関係をどうするかという話があるのですけれども、そんな大きな話から、その観光バスが黙認されていると思いますけれども、問題があるよという話の一つ出ました。</p> <p>稲葉さんと名波さんにちょっとお伺いしたいのですけれども、例えば北側のほうの人宿町など、最近ちょっとおしゃれで若い人たちが来ていると話題になっていますよね。そこら辺をモデルというか、そこと同じようにするつもりはな</p>

	<p>いと思いますけれども、そういうのがあるとすると駅南はこうじゃないかみたいなことを多分お持ちだと思えるのですけれども、そんなことを考えてらっしゃいますか、という話が二つ目です。</p> <p>最後に、先ほど私が言っていた多様性の話は、新しく外から来てここに住もうと思う人とか、単なるビジネス客にしても静岡はどんなまち？みたいなことが、駅の顔としては非常に重要と思うのですよね。障がいがある人や高齢者に優しいまちだと思わせるか、そういう人はいないことを前提につくられているまちだなどと思うかというのは大きな問題だと思いますので、弱きを助けというのは清水の次郎長さんでありましたけれども、強きをくじかなくてもいいけど弱きは助けるようなまちであってほしいと思います。</p>
名波氏	<p>私の駅南銀座への思いとしては、まず義理人情だと思うのです。だからこそその助け合いだと思います。例えば歩いている方が倒れましたというときに、助けあいじゃないですけど、自信になりましたとか、中に入るとか、そういう人情のまちにしていきたい。これは年寄りじゃないかって言われるかもしれない。だけどこれは絶対必要なことなのですよ。人間として。だからそういうまちづくりを目指していきたい。</p> <p>私も 42 年ぐらい駅南銀座振興会の委員としてやっているのですが、駅南銀座の道のカラーは黒、オレンジ、グリーンなのです。これで何を思い出しますか。歌舞伎です。うちの通りは歌舞伎っていうイメージがある。これ聞いて、最初私も若い頃だったのであまり納得しなかったのですが、20 年ぐらいたった後にこういうことを言っていたのだなとわかりました。ここは歌舞伎の色なのです。ではこの商店街をどうしていこう、せっかく駅に近い、一番駅に近い商店街になりますよね。これからどこに持ち上げていくかというものは、やはりいまだゴールが見えないと思います。だけど僕は全てに対してゴールが見えていないと思います。例えば南口開発をやっても最後までゴールが見えないと思うのです。そのときにはまた 30 年後、20 年後にまた動き出すということです。それでも見えないときはまた 20 年後、30 年後に見えるのです。少し違う話へ脱線してしまい申し訳ないですけど、駅南銀座は義理人情の世界で、トラさんじゃないですが、そんな世界です。でも若い人たちは入れていきます。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。ちょっと話を広場に戻しまして、広場関係で何か発言がありそうな方はいらっしゃいますか。では浅野さん、追加でご発言をお願いいたします。</p>
浅野氏	<p>3 番の実際の広場の活用事例として、私がもともと住んでいた新潟市のことについてご紹介させていただきたいと思います。新潟駅は新幹線が止まる駅でして、政令指定都市になっております。静岡市とも結構共通点がある所ではあるのですが、こちらに今出している写真が、私が今年の夏に撮ってきた写真な</p>

	<p>のですが、ここが新潟駅の南口になります。新潟駅の出口は万代口と南口に分かれておりまして、万代口のほうに商業施設が多く、静岡駅でいうと北口のようなイメージで、こちらが南口の広場になります。お盆のときに行ったのですが、マルシェをたまたま開催しておりまして、有志がいろいろお店を出して、来た人が足を止めて楽しんでいるような写真になります。私は普段、新潟駅を結構使っているのですが、やはりこういうものがあると思わず足を止めて見たくなり、楽しくてよいなという印象が駅から生まれるのではないかなと思います。</p> <p>今の写真ですと、プールでヨーヨーすくいみたいなのをやっておりまして、子供や親子連れとかも結構楽しんでいたりして、このような感じで広場として活用できたらいいのかなと思っています。</p> <p>また、私が高校生のときなのですが、夜に通りかかったときにストリートダンスの大会をやっておりました。静岡駅だともしかしたら住宅地との関係で音楽は難しいのかもしれないのですが、若者向けのイベントもあると活性化にどんどんつながっていくのではないかなと感じております。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。いろいろな使い方、使われ方の一つの事例ですよね。一つの例のご紹介をいただきました。ありがとうございます。事務局からキーワードの抽出は表示できますか。</p>
事務局	<p>今日皆さんからいただいた現状課題と、あり方と使い方でもらった意見からキーワードを抽出したものです。皆さんの発言が多かったものが大きい文字になっています。色は品詞の違いを表しています。これを基にコンセプトの案を次回までに作らせていただきたいと思います。</p>
中村氏	<p>後で委員さんが見られるようにしていただけると助かります。ありがとうございました。そろそろお時間が迫ってきておりますが、今日いただいたさまざまなご意見やキーワードを参考に、コンセプトを言葉にして、次回、形にしたもので議論させていただければということでございます。</p>
事務局	<p>今、皆さんからいただいた意見と擦り合やす意味でも、利用者のアンケートを次回までに採りたいなと企画しております。</p> <p>皆さんからいただいた意見と、実際の駅のご利用者さんと合致しているのか、それともまた別の意見があるのかっていうのを知りたいというところがあります。</p>
中村氏	<p>次回は1月で少し時間が空きますので、その間に調べていただくという形で進めていただければと思います。よろしく願いいたします。</p> <p>今日主たる議論は視点1、2、3という形で、後半は視点の2、視点の3でいろいろご意見がございました。あともう少し時間がございますので、ご発言されていない委員さんのほうでこんなことも考えたらいいのではなかという追加</p>

	<p>のご発言がありましたらお願いできればと思いますけれども、どうでしょう。では平井様、お願いいたします。</p>
平井氏	<p>JR 東海の平井です。今日は広場の課題についてのお話が多かったのかなと思いますが、やはり広場の空間と交通機能の両立をしっかりと図っていくことが大切だと思います。そのためには今出たような意見を、全て実現しようと思うと、今の 5000 平米ぐらいの空間だととても実現できないかと思うので、空間を広げていくということが今後のポイントになってくると思っております。</p> <p>あとは交通機能という観点で先を見据えた話も出ていましたが、二次交通のあり方としましては自動車、タクシーとバスという従来のものに加えて、最近では全国的にもオンデマンド交通とか自動運転、MaaS、最先端モビリティということも広場の機能として議論されています。そういうものも静岡南口にあれば、新幹線を降りたお客さまなどが南口に出ているような選択肢がある広場ということでわくわくできるような、そういうまちのスタート地点としてこの南口広場を位置付けることができたらいいのかなというふうには思っています。</p> <p>ぜひ広場と交通機能の両立というところを議論させていただければと思います。</p>
中村氏	<p>ありがとうございます。他、いかがでしょう。では須藤さん。</p>
須藤氏	<p>使い方の部分でのポイントは、作っただけでは駄目だという問題がこれから出てくることだと思うのです。広場をどう使うかというところで、面白いと思うのは、生活圏で住民の方がいらっしゃることです。やはりここに関わっている市民の方々がどういうふうに関わったか、まちを、広場をどう使ってくかというときに、どのように関わっていただくかというところが結構ポイントなのかなと思います。そこでやはり、活動する場や市民活動のスペースみたいなものも重要な考え方かなというのは思いましたので、言っただけでは駄目で、その後、例えばマルシェのようなものをどういうふうにやっていただくかというところを含めたアイデアを出していかなきゃいけないのだろうとすごく思いました。</p> <p>今の JR さんのお話であったとおりののですが、新しいテクノロジーとかそういうのをフルで活用できるようなスペースづくりということも重要かなと思っています。例えば、アプリでタクシーを静岡駅の南口に呼んだときに、どこに来てもらうのかわかよく分からないのですよ。停まっているからいいのですが、多分観光で訪れた人が予約したいという話があったときに問題になる。MaaS もそうだし、今、これからどういうふうに関わっていくかをまちの中で組み込んでいくのかという視点も多分すごく必要です。そういう意味では市の DX 関係の事務局の方ともディスカッションしながら、仕組みを入れていくのもとても重要な考え方かなと思っています。それが多分、これからまちの人口</p>

	<p>がどんどん減ってきたときに、外の方々に来ていただいてまちが持続的にぎやかになることにつながっていくだろうし、それはビジネスにとっても多分とってもハッピーになるという視点が重要ななと思いました。</p>
中村氏	<p>どうもありがとうございます。三浦さん、何かありますか。</p>
三浦氏	<p>今日は本当にいろんなご意見がありました。利用シーンとか、課題感も含めてですけれども、問題のある利用シーンもあれば可能性を感じる利用シーンみたいところがキーワードとして集まってきたのかなと思います。それを一時点で詰め込むようなイメージだとやはり破綻してしまうように思います。優先順位を付けないといけないというご指摘もあったのですが、これは時間でどう考えるか、つまり一日の間だったり平日か休日かということだったり、シーズンで見ていくということで、これほどの時点のことを言っているのかという視点で見ていくと、この時点のこの空間の容量の部分をもうちょっと議論しなければいけないというようなところも出てくると思いますので、そういった整理を事務局でしていただければうれしいです。</p> <p>あとは、学生の居場所みたいところも事例を参照していただいておりますし、活動スペースなどいろいろな話もあったのですが、そうしたスペースができることというのは、ある意味、駅や駅周辺に目的があって来た方々の移動の分散にもつながり得るかなと思っています。わざわざ混んだときに送迎に来てもらうというよりも、親御さんたちもちょっとゆっくりできるような、時間帯をずらしてくようなことにもつながっていくので、実は居場所づくりは何となく交通空間を圧迫するように感じるけれども、沿道や建築の中も含めて、そういう場所をなるべく作っていくということが交通の問題を分散させるということにもつながるかなと思いますので、そうした議論をまた深めていければと思います。</p>
中村氏	<p>先ほど平井さんのほうから空間が狭い、広げるというような話も出てきたのですが、さっき姫路の事例がありました。姫路の場合は駅へのアクセスを大きく変えて空間を再編したわけです。静岡の南口についてはどう考えるか。今は広場の南側に、東西に道があり、そして正面に南に向かう、さっき観光バスが停まると言っていた道がある、ということだと思うのですが、これを前提に考えていくのか。でも、まちとつなごうと思うと道路が邪魔ですよね。また、デッキよりも下のほうが実は通行量は多いけど、なかなか渡れない人いる中で、道路との関係をどう考えるのか。場合によっては道路を狭めることや、つぶすのはなかなか難しいかもしれませんが、ちょっと空間の少し広げることと併せてアクセスのあり方も大胆に見直すようなこともあっていいのではないかなということもありますので、少し幅広に、事務局のほうでいろんなパターンをいろいろ考えてみていただけたらありがたいなと思います。</p>

	<p>進行が悪くて十分思いを言えなかった委員さんもおられるかもしれませんが、今日第1回目ということで、いろいろと皆さんから貴重な意見いただきました。ありがとうございました。事務局のほうでアンケートを含めて検討を深めていただいて、第2回目という形に進んでいただければと思います。</p> <p>それではこのような形で私の進行のほうは終わりとさせていただきます、事務局のほうに進行を返したいと思います。ありがとうございました。</p>
事務局	<p>中村委員長、委員の皆さま、ありがとうございました。次回の日程についてお知らせします。令和6年1月9日、火曜日、14時から開催を考えております。会場は後日お伝えしますが、詳細につきましては後ほど開催通知をお送りいたしますので、お忙しいところ恐縮ですがご出席いただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは以上を持ちまして第1回静岡駅南口駅前広場再整備検討委員会を閉会とさせていただきます。2時間にわたるご審議、ありがとうございました。</p>